



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社レントラックス
コード番号 6045 URL <https://www.rentracks.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 梶尾 幸介

TEL 03-3878-4159

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,621	41.0	574	41.7	568	40.9	324	21.3
2022年3月期第2四半期	1,149		405	169.2	403	179.7	267	409.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 370百万円 (37.2%) 2022年3月期第2四半期 270百万円 (391.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	41.35	41.35
2022年3月期第2四半期	34.01	34.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,345	2,978	40.5
2022年3月期	6,250	2,692	43.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,976百万円 2022年3月期 2,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		10.00	10.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,156	28.6	1,114	40.5	1,106	38.3	659	50.5	83.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	7,975,800 株	2022年3月期	7,975,800 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	119,643 株	2022年3月期	100,343 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	7,856,765 株	2022年3月期2Q	7,875,457 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、売上高、該当するセグメント別の売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着きを見せ、経済正常化の流れが進みつつあるものの、ロシアによるウクライナ侵攻をはじめとする地政学リスクの顕在化や世界的な原材料価格の高騰等が重なり、景況感は悪化いたしました。

このような経済状況のもと、株式会社電通グループの「2021年日本の広告費」によれば、2021年の日本の総広告費は6兆7,998億円と、前年比110.4%と大きく回復しました。中でも当社グループが属するインターネット広告市場においては、インターネット広告媒体費が2兆1,571億円(前年比122.8%)と継続して高い成長率を保っております。

当社グループでは、主力の成果報酬型広告サービス事業において、金融、自動車買取、引越、エステ、転職求人、土業、不動産関連など既存の各ジャンルにおける広告主様への注力を継続するとともに、物販等のその他新規分野の広告主様に対して営業の強化を図り、また広告掲載媒体運営者様に対して、より一層の連携強化に努めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,621,523千円(前年同四半期比141.0%)、営業利益574,378千円(同141.7%)、経常利益568,605千円(同140.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は324,860千円(同121.3%)となりました。

セグメント別の売上高は、成果報酬型広告サービス事業が909,196千円(同117.7%)、検索連動型広告代行事業が60,088千円(同288.7%)、中古建設機械マーケットプレイス関連事業が463,840千円(同253.7%)、その他の事業が188,398千円(同108.5%)となっております。また、セグメント利益は、成果報酬型広告サービス事業が909,196千円(同117.7%)、検索連動型広告代行事業が60,088千円(同288.7%)、中古建設機械マーケットプレイス関連事業が63,746千円(同148.3%)、その他の事業が118,439千円(同114.3%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は7,345,069千円となり、前連結会計年度末と比較して1,094,569千円の増加となりました。これは、売掛金が1,215,404千円、商品及び製品が129,262千円、前払費用が176,781千円、投資有価証券が69,284千円増加し、現金及び預金が513,195千円減少したことが主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は4,366,178千円となり、前連結会計年度末と比較して808,097千円の増加となりました。これは、買掛金が707,945千円、短期借入金が62,632千円、長期借入金が31,140千円増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は2,978,891千円となり、前連結会計年度末と比較して286,471千円の増加となりました。これは、利益剰余金が241,774千円、その他有価証券評価差額金が33,064千円増加したことが主な要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、前連結会計年度末に比べ515,484千円減少し、2,238,683千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動により使用した資金は412,898千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益508,600千円を計上した一方、法人税等の支払額192,985千円、売上債権の増加1,207,520千円、棚卸資産の増加129,299千円、前払費用の増加175,906千円による減額、仕入債務の増加706,527千円、未払金の増加28,898千円による増額等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動に使用した資金は110,002千円となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出72,405千円、貸付による支出10,000千円、敷金の払込による支出13,993千円等によるもの

であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動で獲得した資金は10,827千円となりました。これは主に短期借入の増加による収入48,318千円、長期借入による収入60,000千円、長期借入金の返済による支出16,836千円、配当金の支払額79,237千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月21日の「第2四半期累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,668,084	2,154,888
売掛金	2,398,777	3,614,182
商品及び製品	167,233	296,496
原材料及び貯蔵品	642	773
前払費用	223,472	400,253
その他	237,171	233,632
貸倒引当金	△1,740	—
流動資産合計	5,693,640	6,700,227
固定資産		
有形固定資産	5,451	12,184
無形固定資産		
その他	8,209	2,875
無形固定資産合計	8,209	2,875
投資その他の資産		
投資有価証券	516,063	585,348
関係会社株式	10,000	10,000
繰延税金資産	—	0
その他	37,278	55,164
貸倒引当金	△20,143	△20,731
投資その他の資産合計	543,199	629,782
固定資産合計	556,860	644,842
資産合計	6,250,500	7,345,069
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,421,023	2,128,969
短期借入金	1,515,044	1,577,676
未払法人税等	215,903	200,206
賞与引当金	31,420	39,460
その他	289,371	287,953
流動負債合計	3,472,763	4,234,266
固定負債		
長期借入金	73,020	104,160
繰延税金負債	10,547	25,123
退職給付に係る負債	1,750	2,628
固定負債合計	85,317	131,911
負債合計	3,558,080	4,366,178
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,096	440,096
資本剰余金	346,096	346,096
利益剰余金	1,893,184	2,134,959
自己株式	△65,317	△66,734
株主資本合計	2,614,059	2,854,416
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,955	119,020
為替換算調整勘定	△9,729	3,281
その他の包括利益累計額合計	76,226	122,302
新株予約権	2,133	2,171
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,692,419	2,978,891
負債純資産合計	6,250,500	7,345,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,149,713	1,621,523
売上原価	209,789	470,052
売上総利益	939,924	1,151,470
販売費及び一般管理費	534,556	577,091
営業利益	405,367	574,378
営業外収益		
受取利息	446	232
為替差益	—	382
仕入割引	1,998	1,357
その他	2,340	615
営業外収益合計	4,785	2,587
営業外費用		
支払利息	4,558	5,943
為替差損	257	—
貸倒損失	—	37
投資事業組合運用損	842	1,452
その他	1,013	927
営業外費用合計	6,672	8,360
経常利益	403,481	568,605
特別損失		
投資有価証券評価損	—	49,325
減損損失	—	6,012
関係会社清算損	—	4,667
特別損失合計	—	60,005
税金等調整前四半期純利益	403,481	508,600
法人税等	135,607	183,739
四半期純利益	267,873	324,860
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	267,873	324,860

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	267,873	324,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101	33,064
為替換算調整勘定	2,407	13,011
その他の包括利益合計	2,508	46,076
四半期包括利益	270,382	370,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270,382	370,937
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	403,481	508,600
減価償却費	3,610	2,828
のれん償却額	5,169	—
投資事業組合運用損益(△は益)	842	1,452
株式報酬費用	37	37
投資有価証券評価損益(△は益)	—	49,325
減損損失	—	6,012
関係会社清算損益(△は益)	—	4,667
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△475	△1,152
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,720	8,040
受取利息	△446	△232
支払利息	4,558	5,943
売上債権の増減額(△は増加)	△199,734	△1,207,520
棚卸資産の増減額(△は増加)	△32,769	△129,299
前払費用の増減額(△は増加)	△54,971	△175,906
預け金の増減額(△は増加)	△90,408	36,315
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,019	706,527
未払金の増減額(△は減少)	△53,528	28,898
その他	△27,018	△58,739
小計	△40,951	△214,202
利息の受取額	446	232
利息の支払額	△4,558	△5,943
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△148,832	△192,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	△193,895	△412,898
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△984	△8,913
無形固定資産の取得による支出	△1,350	△4,520
投資有価証券の取得による支出	—	△72,405
貸付けによる支出	△20,000	△10,000
敷金及び保証金の差入による支出	—	△13,993
敷金及び保証金の回収による収入	902	165
定期預金の払戻による収入	7,360	△335
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,070	△110,002
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	1,005,109	48,318
長期借入れによる収入	20,000	60,000
長期借入金の返済による支出	△10,330	△16,836
自己株式の取得による支出	—	△1,417
配当金の支払額	△70,050	△79,237
財務活動によるキャッシュ・フロー	944,729	10,827
現金及び現金同等物に係る換算差額	572	229
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	737,335	△511,842
現金及び現金同等物の期首残高	2,600,478	2,754,168
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△3,642
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,337,813	2,238,683

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。

なお、本適用指針の適用による当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に与える影響額については、軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	中古建設機械マ ーケットプレイ ス関連事業	計		
売上高						
日本	772,480	20,811	73,746	867,038	44,136	911,174
中国	—	—	—	—	88,759	88,759
バングラデシュ	—	—	96,610	96,610	—	96,610
マレーシア	—	—	—	—	—	—
アラブ首長国連邦	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	12,490	12,490	40,678	53,168
顧客との契約 から生じる収益	772,480	20,811	182,847	976,138	173,574	1,149,713
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	772,480	20,811	182,847	976,138	173,574	1,149,713
計	772,480	20,811	182,847	976,138	173,574	1,149,713
セグメント利益	772,480	20,811	42,974	836,266	103,658	939,924

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	中古建設機械マ ーケットプレイ ス関連事業	計		
売上高						
日本	869,958	60,088	173,464	1,103,511	71,310	1,174,821
中国	19,016	—	7,600	26,616	82,502	109,119
バングラデシュ	—	—	28,360	28,360	—	28,360
マレーシア	—	—	44,750	44,750	—	44,750
アラブ首長国連邦	—	—	140,082	140,082	—	140,082
その他	20,221	—	69,582	89,803	34,585	124,388
顧客との契約 から生じる収益	909,196	60,088	463,840	1,433,124	188,398	1,621,523
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	909,196	60,088	463,840	1,433,124	188,398	1,621,523
計	909,196	60,088	463,840	1,433,124	188,398	1,621,523
セグメント利益	909,196	60,088	63,746	1,033,031	118,439	1,151,470

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他事業」において、当初予定していた収益が見込めないため、一部の資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において6,012千円でございます。